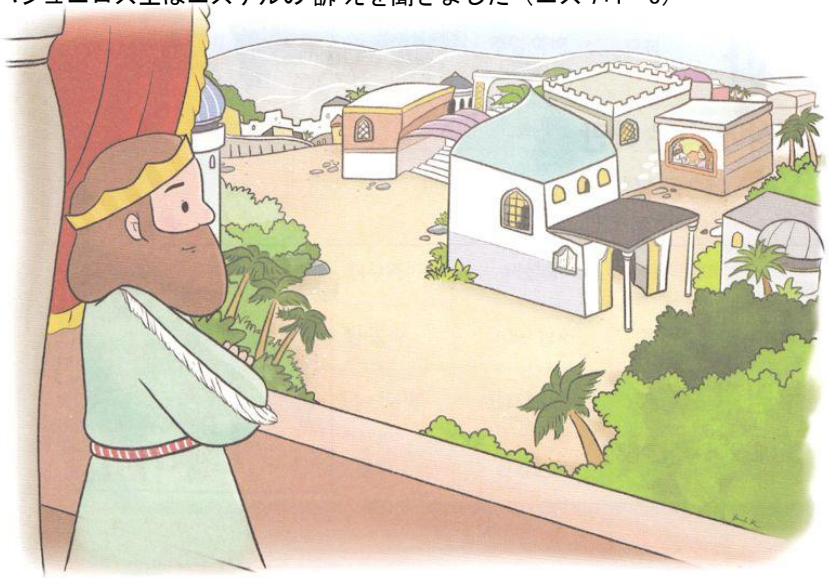
1か　アハシュエロス王 ― 偶像国家の勝利

ダニ 9:1　メディヤ族のアハシュエロスの子ダリヨスが、カルデヤ人の国の王となったその元年、

1. アハシュエロスはどんな人でしたか（偉大な者）
   1）メディヤ族 でした
   2）ダリヨスの父でした（ダニ 9:1）
   3）ペルシヤ王国の王でした（エス 1:1）
2. アハシュエロス王は偶像国家を征服しました
   1）ホドからクシュまで 127 州 を統治しました（エス 1:1）
   2）シュシャンの城を建てました（エス 1:2）
   3）ハマンの 話 を聞いて政治をしました（エス 3:1、8〜12）
   4）ハマンのことばによって、ユダヤ人全滅の命令を下しました
3. アハシュエロス王はエステルを通して契約を悟りました
   1）エステルはモルデカイから受けた契約を握って、自分の民族について言いませんでした（エス 2:10）
   2）エステルは王妃になりました（エス 2:16〜17）
   3）エステルは死ななければならないなら死にますと決断して、王の前に出ました（エス 4:1〜16）
   4）アハシュエロス王はエステルの 訴 えを聞きました（エス 7:1〜8）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

2か 廃位されたワシュティ

エス 1:9　王妃ワシュティも、アハシュエロス王の王宮で婦人たちのために宴会を催した。

1. 王妃ワシュティは、どんな人でしたか

1）とても美しい女性でした
2）国の王妃として、最も良いものを与えられて味わっていました
3）ペルシヤの王アハシュエロスの王妃でした（エス 1:9）

2. 王妃ワシュティは、霊的病気になっていた成功者でした

1）アハシュエロス王はシュシャンで宴会を開きました（1:9）
2）王妃ワシュティは、王の命令を拒みました（1:11～12）
3）結局、中毒者の末路を迎えました

3. 王妃ワシュティを見て、世の権力は、永遠に続かないことを覚えましょう

1）モルデカイのいとこエステルが王妃として選ばれました（エス 2:1～17）
2）王妃ワシュティは、廃位されました（エス 1:3～22）
3）エステルが新しい王妃になりました

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] <子どもの祈りの手帳>
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

エステルが歩んだ契約の旅程2回目の話

レムナントのみんな、こんにちは。おひさしぶりです。エステルです。
9月号でも会いましたが、今月、またお会いできて嬉しいです。
聖書のエステル記、読みましたか。きょうは新しい話を通して
聖書に記録されたエステルを通して、神様の救いについて
考えてみましょう。

01　アハシュエロスはどんな人でしたか

1)アハシュエロスはギリシャ語でクセルクセスと言います。
紀元前486～465年にペルシャを統治した王でした。
2)お父さんはダレイオス1世ですが、旧約聖書のダニエル書に出てくるダリヨスとは別の人です。
アハシュエロスのお母さんはクロスの娘アトッサでした。
3)巨大な帝国を受け継いだのですが、国を拡張させることは失敗しました。
4)アハシュエロスはゾロアスター教を信仰していました。
5)王妃ワシュティを廃位してエステルを王妃にしました。

02　モルデカイとハマンの争いにはどんな意味がありましたか

1)モルデカイはエステルの親戚であり、サウル王の生まれであるベニヤミン族の人でした
（エス 2:5）またユダヤ人の王族の子孫でした。
2)ハマンは、アガグ人ハメダタの息子でした（エス 3:1）「アガク人」とは、アマレクの王たちの
共通の称号のことを言います。すなわち、ハマンはアマレクの王族の子孫でした。
3)アマレク人は、ヤコブの兄エサウの子孫です（創 36:12）
アマレク人はイスラエルの永遠の敵になりました（出 17:14～16）
4)神様がサウル王にアマレクを打って、一人も残さずに滅ぼせとおっしゃったのですが（Ⅰサム
15:3）サウル王の欲によってみな滅ぼさなかったのです。（Ⅰ サム 15:9）
5)サウル王の不信仰によって生き残ったアマレクの子孫によってユダヤ人には大きな危機が
迫りましたが、モルデカイとエステルの勝利によって神様の救いがなされました。

03　プリムの祭りとはどんな日ですか

ハマンは「プル」というくじを投げてユダヤ人を根絶やしにする日を決めました。
この「プル」ということばから、プリムの祭りという名前がつけられました。
この祭りは、ハマンの陰謀から神様がエステルを通して民族を救われたことを、
毎年記念する日になりました。
プリムの祭りのとき、ユダヤ人は会堂に行って、エステル記を読みます。
病気のために会堂に行くことはできない人たちは、家でエステル記を読むのです。

04　プリムの祭りの風習

1)エステル記を読むとき、救いに関する聖書個所は大きな声で読まなければなりません（エステル
2:5、8:15-16,10:3）また、ハマンの名が出てきたら、子どもたちは音のなるおもちゃを用いて、ハ
マンの名前をかき消します。エステル9章7～10節に記録されたハマンの十人の息子の名前は、
一気に読まなければなりません。彼らが一度に処刑されたことを記憶するためです。
2)二人以上に食べ物を作って送り、貧しい人々にお金を送る施しをしなければなりません。プリ
ムの祭りは、ユダヤ人がみんな殺されるところだったのに、生かされた喜びの日であるためです。
3)お昼から夜まで、多くの食べ物を食べます。またこのとき、「ハマンタッシェン（ハマンの
耳）」という伝統菓子を食べます。
4)最近では、子どもたちが最も待ち望んでいるお祭りで、いろいろな仮装をして楽しみます。

私たちに適用しよう！

1．サウル王が神様のみことばに聞き従わなかったことで、のちにユダヤ人たちに大きな危機が
訪れました。私も神様のみことばに聞き従わないときがあるか確認して、書いてみましょう。

2．ユダヤ人はプリムの祭りを通して、神様の救いを忘れないようにしています。私たちも
エステル記を読んで、イエス・キリストの救いを考える時間を持ちましょう（読んだところを
チェックしてください）

エステル	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	8章	9章	10章
チェック										

3か 王妃エステル

エス 2:10　エステルは自分の民族をも、自分の生まれをも明かさなかった。モルデカイが、明かしてはならないと彼女に命じておいたからである。

1. 世界福音化を逃したイスラエルの民は、どんな状況でしたか

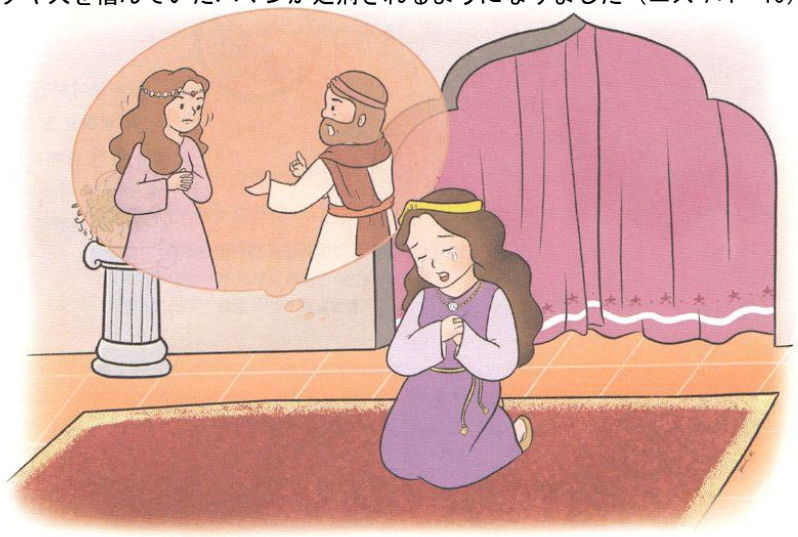
1）強大国の奴隷になりました
2）強大国に捕虜として連れて行かれました
3）強大国に支配される属国になりました

2. 捕虜になったレムナントの中にエステルがいました

1）エステルは顔のきれいな、美しい女性でした（エス 2:7）
2）エステルには重要な契約がありました（エス 2:10）
3）エステルは、契約を握って王妃となりました（エス 2:12～18）

3. エステルが国を救いました

1）エステルの本名はハダサ（天人花）です
2）エステルがユダヤ人を救うために決断しました（エス 4:1～16）
3）ユダヤ人を憎んでいたハマンが処刑されるようになりました（エス 7:1～10）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

15

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

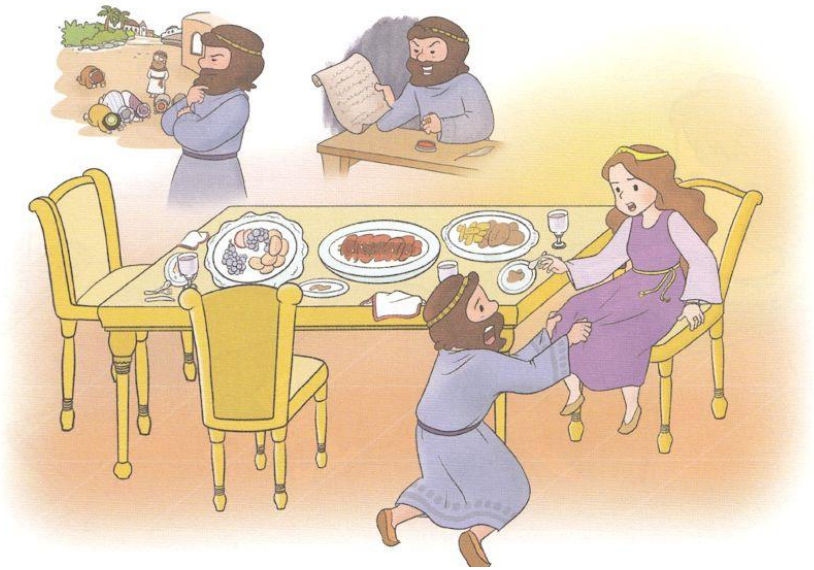
- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

4か　世の中にだまされたハマン

エス 3:1　この出来事の後、アハシュエロス王は、アガグ人ハメダタの子ハマンを重んじ、彼を昇進させて、その席を、彼とともにいるすべての首長たちの上に置いた。

1. ハマンはどんな人でしたか
   1）孤独な人でした
   2）アガグ人ハメダタの子でした　（エス 3:1）
   3）アハシュエロス王の総理大臣でした（エス 3:1）
   ＊ハマンはアマレク人でした（出 17:8～16）
2. 世の中にだまされたハマンの結末は、世の成功者の結末と同じです
   1）絶対権力にだまされて、自分にひれ伏させました（エス 3:2）
   2）ユダヤ人モルデカイを見て怒りました（エス 3:4～5）
   3）ユダヤ人を絶滅させようと陰謀を企てました（エス 3:6～15）
3. ハマンは結局、失敗しました
   1）絶対契約を持っていたエステルの前に失敗しました（エス 4:1～16）
   2）真理の前に失敗しました
   3）契約の前に屈しました



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

22

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

5か　プリムの祭り

エス 9:26　こういうわけで、ユダヤ人はプルの名を取って、これらの日をプリムと呼んだ。こうして、この書簡のすべてのことばにより、また、このことについて彼らが見たこと、また彼らに起こったことにより、

1. アハシュエロス王の勅令が出ました
   1）ハマンに王のすべての臣下はひれ伏すよう命じました（エス 3:2）
   2）ユダヤ人を根絶やしにしようと、処刑する命令を出しました（エス 3:6～15）
   3）ユダヤ人は殺されずに、かわりにハマンに処刑命令を出しました（エス 8:1～17）
2. 時代ごとに神様の救いがありました
   1）パロ王の時代です（出 5:1～12:51）
   2）ヘロデ王の時代です（ルカ 2:1～14）
   3）ハマンが王の権力を悪用した時代です（エス 3:6～15）
3. このすべての事実は、歴史の本に記録されています
   1）モルデカイがこのことを記録しました（エス 9:20～24）
   ー毎年、アダルの月の十四日と十五日にプリムの祭りを守るように定めて書き送りました
   2）ハマンは処刑されました（エス 9:25～26）
   3）プリムの祭りを守るように、王が新しい勅令を出しました（エス 9:27～32）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

29

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば